

女王蜂のマーキング

マーキングの目的

女王蜂の背中にカラーペイントでマークすることは、次のような目的で古くから行われている。

- (1) 群のなかでの識別を容易にする。(一般養蜂家)
- (2) 色の組み合わせを変えることでナンバーの代わりをする。(研究目的)
- (3) 毎年、色を変えることで女王蜂の年齢を特定しておくことができる。

使う色の種類には西暦によって変える次のような国際的な取り決めがある。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ● 5 または 0 で終わる年 | ○ 1 または 6 で終わる年 |
| ● 2 または 7 で終わる年 | ● 3 または 8 で終わる年 |
| ● 4 または 9 で終わる年 | |

方法

- (1) 海外には専用シールが市販されていて、接着剤で背中に貼付ける。
一方、油性ラッカーを使う方法があり、ここではこれについて説明するが、上手に作業ができるようになるには、ある程度の経験を要する。
 - ① 親指と人差し指で女王蜂の羽を掴む。決して腹部を掴まない。別の手に女王蜂を移して親指と人差し指で胸部を軽く保定する。
 - ③ 手芸用の3角形の絞り出しラッカー（商品名カラーテックス）のごく先端部だけを切り取り、できるだけ微量のラッカーを絞り出す。（ケシ粒程度。）
 - ④ 女王蜂の背中にラッカーを移し、先端を回転させるようにして円形に描く。
 - ⑤ 利き手の指の腹を軽く背中にあてて、余分なラッカーを拭い去る。

注意

- ① 暖かく好天で外役蜂が活動している日・時間内にする。無蜜期は避ける。
- ② あやまってペイントを塗りすぎた場合は、そのまま群に帰さない。
一時王かごに保護して、塗料が乾き警戒蜂の攻撃性がおさまるまで待つ。